

研究課題「多施設共同 慢性線維化性間質性肺炎の急性増悪後方視的観察研究 および画像所見の予後因子解析」に関する情報公開

1. 研究の対象

2009年1月1日～2017年12月31日に診断された18歳（診断時年齢）以上の慢性間質性肺炎の急性増悪の方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：慢性間質性肺炎の急性増悪は、国際的にも認知度が高まっている病態です。近年、慢性間質性肺炎の急性増悪の救命率は上がってきているものの、依然として致死率は高く、治療に難渋する重症病態です。本研究では、慢性間質性肺炎の急性増悪の診断時に、高い精度で、生命予後を予測することを目指しています。

方法・研究期間：本研究の症例適格基準に該当した線維性間質性肺疾患の患者さんの診療録を用いて、後方視的に登録して調査します。研究期間は、実施承認日～2022年3月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

用いる情報は、病歴、検査結果、治療歴、転帰、CT画像等です。

4. 外部への試料・情報の提供

収集された情報は、匿名化されたデータとして抽出し、事務局である公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科、済生会熊本病院呼吸器センター呼吸器内科に提出されて、集計・解析が行われます。事務局へのデータ提供は、特定の関係者以外がアクセス出来ない状態で行います。対応表は、本学の責任者が保管・管理します。

5. 研究組織（利用する者の範囲）

この研究は、多施設との共同研究で行われます。

- ・ 研究代表者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 近藤康博
- ・ その他の共同研究機関：厚生労働省びまん性肺疾患に関する調査研究班に所属する施設を主体に約15施設が参加します。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科

病院助教 阪本考司

名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL: 052-744-2167

研究代表者

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科

副院長兼部長 近藤康博

瀬戸市西追分町 160 番地

TEL: 0561-82-5101